

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 湯河原福祉会
シーサイド湯河原

法人代表者の変更（平成28年11月）、法人本部の変更（平成29年4月）、社会福祉法人の大きな改革に対応する準備を行ってきました。ナイスケア湯河原居宅介護支援事業所の職員退職に伴う事業の引継ぎの為、シーサイド湯河原居宅介護支援事業所を休止としました。また、事業総括を目的として総務部として事務部門の統一を図りました。ベッド稼働率については本入所90.09%（延べ利用人数29,200人）、短期入所（介護予防含む）107.21%（延べ利用人数3,650人）でした。
尚、実施事業、実施行事は下記のとおり行いました。

① 施設及び環境の整備について

建物については、2、3、4階全てのエアコン圧縮機の修理、サッシ鍵穴、リネン庫手引戸、ユニット内棚扉等の修理を行いました。開所当初から職員通用口付近の雨水槽排水能力不足による建物内の浸水を防ぐ為、配管を増やし排水槽から排水される量を多くし、改善する工事を行いました。また、今年の建物定期検査でわかった、塩害の影響のバルコニー天井部分の塗装の剥がれ及び、ひび割れ、吹き抜け外壁部分のひび割れの修繕を行いました。

設備については、特浴器具類、業務用洗濯機・乾燥機・汚物除去機の劣化による修理が昨年度は重なったため、今年度は予め点検と修理を行いました。家庭用洗濯機1台とユニット談話室テレビ1台が経年劣化となったため買い換えました。ベッドリモコンについては、故障時の修理をメーカーが対応をしていないため修理が不可能となり、5台追加購入しました。

また、勤怠・給与ソフト並びにシステム一式がメーカーの保守終了となったため、セキュリティシステム強化を併せ更新しました。

また、送迎車（日産キューブ）の劣化により何度か手を加えましたが、修理がかさむため車の入替を行い、雪道の対応に備え送迎車にスタッドレスタイヤを購入しました。

リース保守契約等については例年行っている、消防設備、エレベーター、自動ドア、ボイラー、冷暖房設備、電気設備、厨房設備に業務用洗濯機類を加えた保守点検、セキュリティ、保険（火災・自動車等）の継続、パソコン、コピー機、カーテン・ブラインド、寝具類、カラオケ、アロマに新たに送迎車（日産クリッパー）を加えました。

例年の通り、施設外周と庭の草刈も行っています。

② 非常災害対策について

年間6回の訓練を実施し、委託業者による消防法第27条3項による消防設備の点検、消防署長への報告を行いました。備蓄用品の食品・オムツ類・医療用物品等も随時点検、入替えを行っています。

また、相模原市の障害者支援施設の殺傷事件を教訓とし防犯の強化を考え、警備会社へのカード式通信機設置、刺又を購入し小田原警察に刺又の使い方の出張研修をして頂きました。

③ 職員研修について

例年の通り、年間計画により職員主導による勉強会を行いました。今年度も湯河原消防のご協力を得て「普通救命講習」を繰り返し行っています。

また、施設内で資格取得支援制度を設け介護福祉士取得に必要な、介護実務者研修の支援を行いました。当法人内でのスクール開校のお話を頂いたことから来年度からの実務者研修を見据え、講師養成の研修に職員を派遣しました。

認知症実践者研修にも積極的に職員を派遣しました。

今年度は介護福祉士に2名の合格者があり介護職全体の65%が有資格者となっています。

④ 職員の福利厚生について

深夜業務者（夜間勤務を行う介護職員と宿直員）は年2回、それ以外の職員は年1回の職員定期健康診断を行いました。メンタルヘルスについては法令改正に伴い、小田原医師会のプログラムを導入し、高ストレス者の対応に備えました。また、1階に新たに職員休憩室を設けました。

今年度も引き続き“シーサイドサンクス賞”の審査を行い、受賞者に表彰を行いました。また、シーサイド湯河原が開所10年となり、「10年勤続者」の表彰を併せて行いました。

⑤ 利用者の生活介護について

1) 居室担当制 2) 一日の生活パターンを『24時間シート』のまとめ・更新 3) ユニット出入り口の開放、各階でのBGM、ディフューザーを用いてのアロマセラピーを続けています。食事・排泄・入浴等、介護の“標準化”を目指し、来年度からのキャリア段位制度との連動を導入する準備を始めました。

⑥ 食事について

委託業者の㈱シバフードサービスには、外に出る機会の少ない入居者様にとって楽しみである食事に、季節感を大切に、体感して頂けるメニュー作り、食事作りに工夫を凝らして頂いています。メニュー外の頂きものの筈を、予定外ですが柔軟に対応して頂き、筈ご飯を作って頂くなど協力体制も万全です。恒例の“寿司会食”ですが、ネタ・酢飯ともボリュームをつけて頂き、多くの入居者様が「まぐろが美味しかった。」とおっしゃられ、全量召し上がられたと今年も大好評でした。

⑦ 余暇活動について

施設内で定期的に行っている、お料理クラブ等のクラブ活動、季節ごとの喫茶、敬老お祝い会など引き続き行っています。ご招待を頂き、東台福浦小学校の芸術鑑賞会、小学校と幼稚園の合同運動会、素鷲神社豆まきに数名ではありますが出掛けて行きました。また、歌の披露、落語口演の施設訪問を受けました。

⑧ 利用者の健康管理について

年1回の定期健康診断を検診機関に訪問して頂き実施しました。感染症対策を万全にするため、シーズン前に施設内勉強会で昨年とは違う形で復習をしました。今年度も入居者様職員共にインフルエンザ予防接種を行っています。緊急時に円滑な対応ができるよう、自動血圧計と実測体温計を追加購入しています。

また、開所時から使用していた車椅子用体重計が壊れてしまったので新たに購入しました。センサーについては、事故・怪我の防止となるよう使用していますが、一部リース期間満了となったため、2台新たに椅子センサーを購入しました。

⑨ 保健衛生について

建物の清潔保持と健康のため、業者による殺虫消毒を年2回、グリストラップ（排水管クリーニング）を年2回実施、法令で定められている貯水槽の清掃も行いました。2階うめ側の中庭に赤ダニが発生し、1階から2階の建物外部にも赤ダニ、蟻、ダンゴ虫が発生したので害虫駆除と防除剤の散布をしました。例年通り寝具類・カーテン・ブラインドについては契約通り業者によるクリーニングを実施しました。

また、ショートステイの稼働が増えたため、利用頻度に対応するようレイコップ（布団クリーナー）の購入と、敷パッド、毛布、ポータブルトイレを追加購入しました。

⑩ 施設の地域理解の促進について

交流ホールの提供、地域の小学校・神社行事への参加、夏祭り、コーラスの訪問、地域公開講座を続け少しずつではありますが、地域の方々との交流を深めて来ています。また、医療・介護人材育成として看護学生・介護福祉学生の校外実習の受入れ、栄養短期大学生の見学、中学生の福祉体験学習の受入れを行いました。